

Electronically Yours

エレクトロニカリー・ユアーズ

電子時代の新たな肖像

マーガレット・ベニヨン Margaret BENYON

エンニオ・ベルトラン Ennio BERTRAND

リュック・クールシェヌ Luc COUSCHESNE

リー・コックス Lee COX

古池大介 Osuke FURUKI

マーカス・ケッフ Markus KACH

森村泰昌 Yasumasa MORIMURA

トニー・アウスラー Tony COURSLER

デヴィッド・ペレット David PERRETT

ピエリック・ソラン Perick SORIN

マーティ・セントジェームズ Marty ST JAMES

スタジオ・アッズーロ Studio AZZURRO

コスタス・ツォクリス Costas TZOKLIS

1998年6月27日土
8月26日水

会場——東京都写真美術館2階企画展示室

東京都写真美術館

Tokyo
Metropolitan
Museum of
Photography

Electronically Yours

エレクトロニカリー・ユアーズ
電子時代の新たな肖像

英国ナショナル・ポートレートギャラリーによる企画の巡回展として「エレクトロニカリー・ユアーズ—電子時代の新たな肖像」展を開催いたします。先駆的なメディア・アート展「サイバネティック・セレンディビティ」(1968年、ICA/ロンドン)の企画者ヤシャ・ライハート氏が英国側ゲスト・キュレーターとして企画し、一年間にわたる「英国祭98/FESTIVAL UK98」の一環として、英国に先立ち東京都写真美術館で開催されるものです。当館では平成2年の第1次開館時から、「映像工夫館展」を通して、写真・映画発明以前の歴史的な視覚装置や、ビデオ、コンピュータによるメディアアート、ヴァーチャルリアリティ以降に至る広汎な映像分野の作品展示・ワークショップに取り組んできました。本展は、従来の「写真」に絞った展示ではなく、「映像」分野の作品を、企画展示室で紹介できる最初の機会になります。

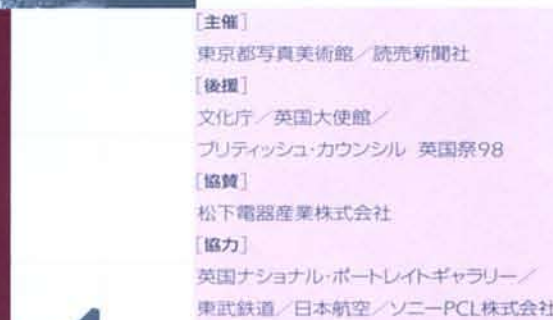
21世紀に向けてコンピュータや通信テクノロジーの飛躍的な進歩が新しい情報化社会を生むと同時に、コンピュータ・グラフィックスの活用やインタラクション(双方向性)を持つコミュニケーション形態によって、芸術表現の領域はさらに拡がりました。過去に光と影とから生まれ、現在も刻々と変化を続ける映像・ニューメディアの分野でも、国際的に活躍するアーティストたちが次々と作品を生み出しています。本展では、今日的な意味での「肖像」や人間の「身体」をテーマに、コンピュータ・グラフィックス、ホログラフィ、ビデオなどを用いたインスタレーション作品を展示します。そこではアーティストたちの作品が一層の映像的な環境を形成し、双方向型のインタラクティブ・アートを含む表現世界を体験することができます。絵画や彫刻、写真というかたちで記憶されてきた人間の姿が、どのような在り方に変容していくのか——家族や人々、そして自分自身の姿をどのように捉え、視覚や知覚の面から展開させていくか、そこにそれが表現され、提示されています。本展は、私たちがこれまで知っていた「イメージ」や「ポートレート」と根底ではつながりながらも、また別の可能性を持つ「新たな肖像」について、思索を巡らす機会となるでしょう。

出品作家

1. マーガレット・ベニヨン ©Margaret BENYON
2. エンニオ・ベルトラン ©Ennio BERTRAND
3. リュック・クールシェヌ ©Luc COUSCHESNE
4. リー・コックス ©Lee COX
5. 古池大介 ©Osuke FURUKI
6. マーカス・ケッフ ©Markus KACH
7. 森村泰昌 ©Yasumasa MORIMURA
8. トニー・アウスラー ©Tony COURSLER
9. デヴィッド・ペレット ©David PERRETT
10. ピエリック・ソラン ©Perick SORIN
11. マーティ・セントジェームズ ©Marty ST JAMES
12. スタジオ・アッズーロ ©Studio AZZURRO
13. コスタス・ツォクリス ©Costas TZOKLIS

参考上映——山口勝弘 Katsuhiko YAMAGUCHI
Copyright ©1998 by 東京都写真美術館/コンテンポラリー・アート・コレクション
©The Saatchi Collection, London
"electronically yours" was organized in association with the National Portrait Gallery, London

1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12



主催
東京都写真美術館/読売新聞社
後援
文化庁/英国大使館/
ブリティッシュ・カウンシル 英国祭98
協賛
松下電器産業株式会社
協力
英国ナショナル・ポートレートギャラリー/
東武鉄道/日本航空/ソニーPCL株式会社
バイオニア株式会社/
ザッポロビール株式会社
観覧料
●一般・大学生 600(480)円
●小・中・高校生 300(240)円
常設展・映像工夫館展との共通観覧料
●一般・大学生 1000(800)円
●高校生 500(400)円
()内は20名以上の団体料金。
小学生未満、65歳以上の方、および障害のある方と
その介護の方1名は無料
(証明できるものをご持参下さい)
開館時間
10:00→18:00(木・金曜日は20:00まで)
入館は閉館の30分前まで
休館日
毎週月曜日
(休館日が祝日または振替休日の場合はその翌日)

シンポジウム開催のお知らせ

日時
6月28日 午後1時→
会場
写真美術館1階ホール(入場無料、先着200名)
[パネラー]
ヤシャ・ライハート
Jasia REICHARDT・キュレーター]
山口勝弘
[Katsuhiko YAMAGUCHI・アーティスト] 他
●第2、第4金曜日午後2時より当館学芸員による
フロア・レクチャーを行います。

次期企画展のご案内

ウジェーヌ・アジェ 回顧展
——開かれゆく20世紀のバリエーション——
1998年9月3日(木)→11月4日(木)

交通機関
JR恵比寿駅より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)
お車でのご来館はご遠慮下さい。

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都港区三田1-13-3
Tel: 03-3290-0031 Fax: 03-3280-0033
ハローダイヤル: 03-3272-5600
インターネット: <http://www.tokyo-museum.jp>